

ルーイエナ町から訪問団、長水郡の高校生も語学研修に

町内は国際色いっぱい

7月、ラトビア・ルーイエナ町からグンティス・グラドキンス町長ら訪問団一行が2年ぶりに来町しました。同町の高校生4人も日本語研修プランで来町、加えて韓国・長水郡からも高校生が初めて語学研修生として来ました。台湾、中国から来町している語学研修生を加えて、海外からの来訪者が続々。町内は国際色豊かににぎわいました。

ラトビア・ルーイエナ町との姉妹提携交流5年目の今年、8月にラトビアに帰国予定のペーテリス・ヴァイヴァルス駐日大使が同行して、同町訪問団18人が来訪し、町内の農業教育施設などを中心に視察しました。



ルーイエナ町から来町した高校生4人が日本語の基礎研修（役場で）

センター、東川小学校の建設現場、東川中学校など教育現場や、比布町のメロン農家、町内の稲作、トマト生産農家を回って町の農業の様子を見学しました。会社組織で大規模農業経

営をしている(株)丸巴（矢澤睦社長）では、野菜の雪氷冷房冷蔵施設の大きさと機能にびっくり。「前の訪問の時から着実に発展している」

日、松岡市郎町長に「友情の木」を贈り「一番大切なことは人と人との交流、そして交流しようとする心。われわれの友情の木も風に吹かれ、大地で耐え、美しい葉を茂らせよう」と願いを込めました。

5年前、両町の姉妹都市締結を取り持ったヴァイヴァルス大使は、誕生祝いのバスデーケーキのプレゼントに感慨ひとしお。「7年間の任期中、一番に残っているのはルーイエナと東川町のプロジェクト。今後も両町にとって良い交流であってほしい」と願いを託しました。

一方、今年1月に「友好交流・協力意向書」を交わした韓国・長水郡からは、同郡から初めての日本語研修プログラム学生として、7月11日から1カ月間、高校生6人が来町しています。

韓国長水郡から高校生が日本語研修に来町（歓迎焼き肉パーティーで）

同町との交流では、ルーイエナ高校から高校生4人が日本語研修と日本文化体験プログラムで訪れ、約1カ月間短期研修。町民体育祭にも出場して町の皆さんと交流を深めました。

9月、町からは町内の高校生4人がルーイエナ町を訪れる予定です。



ルーイエナ町から「友情の木」のプレゼント（お別れパーティーで）